

白山高山帯自然史調査報告書

1985

石川県白山自然保護センター

序

白山の自然が全国的に著名なのは、原生自然がよく残されていることによりますが、もう一つ、この山の日本列島における位置によるところも大きいといえます。2,702 m の標高をもつ白山は日本列島のほぼ中央にあり、高山帯を有する山としては最も西南に位置しています。そのため、白山を分布の西限もしくは南限とする動植物が数多く知られ、他の山にはみられない特異な自然環境を示しています。明治以降、多くの研究者が白山に足を運んだのもそのためで、高山植物などに白山にちなんだ名が多く用いられています。

石川県では、昭和⁵¹~~50~~年度から3年間、白山自然保護センターを中心に、“白山高山帯自然史調査事業”を行なってきました。白山高山帯の自然史について、地質、植物、動物の面から総合的にとらえようというものです。特に今回は、従来ほとんど手がつけられていなかった第四紀の植生変遷について、花粉化石分析と火山灰層序をもとに、重点的に調査がなされました。本報告書は、当事業の研究成果をとりまとめたものです。今後共、調査成果をふまえ、白山高山帯の自然環境の保全にさらに務めてゆく所存であります。

本調査に際しては、清水 智、遠藤邦彦、辻 誠一郎、菅沼孝之、辰巳博史、米山競一、秋山弘幸、池田良幸、谷田一三、富樫一次、木下道雄、鈴木三男の各氏にご協力をいただきました。ご多忙中にもかかわらず、本調査に時間をさいていただき、深く感謝するしだいです。

昭和 60 年 3 月

石川県環境部長 曾 我 紘 一

目 次

I	白山の第四紀の地史	
1	白山火山の形成史	1
2	白山火山地域の火山灰と泥炭地の形成過程	11
3	白山山岳地帯の植生と環境の変遷史	31
II	白山亜高山帯・高山帯の植生	
1	白山亜高山帯・高山帯の植生概論	46
2	白山の亜高山帯・高山帯の植生分布	51
3	白山を分布の西限もしくは南限とする植物	54
4	白山室堂平の高山雪田植生の回復	71
5	白山高山帯における緑化工事	82
III	白山亜高山帯・高山帯の動物	
1	水生生物	93
2	昆虫類	97
3	鳥類	103
4	ほ乳類	107
資料	1 白山室堂気象記録	113
	2 白山自然動態記録	119